

# 田辺市議会だより

令和6年  
(2024年)

11  
月号

発行 / 田辺市議会 編集 / 広報委員会

## 第4回（9月）定例会 令和6年度田辺市一般会計補正予算などを可決



### 【目次】

主な議案の内容	P 2
議決結果、賛否が分かれた議案	
.....	P 2 ~ 3
意見書の提出、一般質問	P 3 ~ 5
田辺市高校生議会	P 6 ~ 7
第5回（12月）定例会予定ほか	P 8

### 表紙の写真

8月17日（土）に田辺市議会では初めての「高校生議会」を開催しました。高校生議員の皆さんには、議会の本会議・委員会の形式を通して、議員と交流・意見交換をしていただきました。高校生の実生活での課題や率直なご意見を直に伺うことができ、大変有意義な議会となりました。

## 第4回（9月）定例会

第4回（9月）定例会は、9月4日から27日までの24日間の会期で開催し、「田辺市国民健康保険条例の一部改正について」など、市長提出議案20件を全て原案のとおり可決（人事案件については同意）しました。

また、市長専決処分事項など3件の報告を受けたほか、委員会提出議案2件を可決し、小中学校給食費無償化を求める請願については不採択としました。

なお、令和5年度一般会計及び各種特別会計歳入歳出決算議案等15件は、各常任委員会へ付託し、閉会中の継続審査としました。

本定例会では、9月13日及び17日の2日間にわたり、6人の議員が一般質問を行いました。

## 主な議案の内容

### 補正予算

#### ●議案第7号

一般会計補正予算（第4号）

1億5877万円

・情報システムの標準化・共通化・オープン化事業  
1772万9000円

現在、取組を進めている地方公共団体情報システムの標準化・共通化・オープン化事業について、その進捗状況等を踏まえ、関連経費を補正する。

・新規就農者経営継承等支援金  
500万円

農業の新たな担い手を確保するため、令和6年度から県が実施する経営継承応援事業を活用し、新規就農者に対し支援を行う。

・林業機械生産力高度化支援補助金  
2167万3000円

木材生産基盤の強化及び経営の安定化を図るため、エネルギー効率または生産効率等に優れた省力化機械への転換・導入を行う林業事業者に対して補助を行う。

・民間施設木造木質化支援事業補助金  
400万円

紀州材の需要拡大を図るとともに、木のやさしさや温もりを感じることで空間を通じて、森林と

つながる暮らしを育む機会を創出する者に対して補助を行う。

・新規漁業就業者支援事業費補助金  
900万円

令和6年度から県において新規漁業就業者に対する補助事業が創設されたことから、新規漁業就業者への支援充実を図るため、補助制度の拡充を行う。

・市立小中学校給食費無償化事業

歳入 △6041万3000円

歳出 636万9000円

県補助事業の活用により、令和6年10月から令和7年3月までの間、市立小中学校における給食費無償化を実施する。

## 条例

#### ●議案第1号

田辺市国民健康保険条例の一部改正について

国民健康保険法の一部改正に伴い、国民健康保険の被保険者証の返還に応じない者に対する過料の規定を廃止するため、所要の改正を行う。

## 第4回（9月）定例会

## 議決結果

件名	議決結果
3定請願第1号 小中学校給食費無償化を求める請願	不採択 (賛成少数)
4定議案第1号 田辺市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
4定議案第2号 工事請負契約の締結について 田辺スポーツパーク陸上競技場改修工事	
4定議案第3号 物品購入契約の締結について 高機能消防通信指令システム及び消防救急デジタル無線活動波システム購入契約	
4定議案第4号 訴えの提起について	
4定議案第5号 訴えの提起について	

# 議決結果

## 第4回（9月）定例会

件 名		議決結果
4定議案第6号	田辺市辺地総合整備計画の変更について	原案可決 (全会一致)
4定議案第7号	令和6年度田辺市一般会計補正予算（第4号）	
4定議案第8号	令和6年度田辺市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	
4定議案第9号	令和6年度田辺市介護保険特別会計補正予算（第1号）	
4定議案第10号	令和6年度田辺市診療所事業特別会計補正予算（第1号）	
4定議案第11号	令和6年度田辺市四村川財産区特別会計補正予算（第1号）	
4定議案第12号	令和6年度田辺市水道事業会計補正予算（第1号）	
4定議案第13号	令和6年度田辺市下水道事業会計補正予算（第1号）	
4定議案第14号～20号（7件）	四村川財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて 辻本益男氏（再）・久田里敏行氏（再）・玉置陽亮氏（再）・山根修氏（再） ・平宜史氏（再）・松葉幸保氏（再）・浦地真也氏（再）	同意 (全会一致)
4定発議第1号	学校給食費無償化による不公平感の解消を求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)
4定発議第2号	国土強靱化の強力かつ計画的な推進を求める意見書の提出について	

※議案番号の前の「3定」は6月定例会、「4定」は9月定例会を表しています。

※議案第〇号は市長提出議案、発議第〇号は議員・委員会提出議案です。

賛否が分かれた議案	議案の可否	紀新会					清新会			くまのクラブ		公明党		大志会		日本共産党		
		安達 克典	市橋 宗行	尾崎 博文	宮井 章	尾花 功	北田 健治	福榮 浩義	柳瀬 理孝	橘 智史	安達 幸治	谷 貞見	佐井 昭子	加藤 喜則	浅山 誠一	松上 京子	久保 浩二	前田 かよ
3定請願第1号 「小中学校給食費無償化を求める請願」	不採択	×	×	×	×	/	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○

【○…賛成 ×…反対】 ※議長（尾花功）は議決に加わらないため斜線としています。

## 第4回（9月）定例会で可決した意見書

第4回（9月）定例会では、次の2件の意見書を可決し、市議会の意思として、国会や関係機関へ提出しました。

### 学校給食費無償化による不公平感の解消を求める意見書

（令和6年9月4日提出） ※抜粋

本補助金<sup>\*</sup>は、学校給食法第3条第2項における義務教育諸学校において実施される給食を対象にしており、その他は補助対象外となっている。

田辺市には、学校給食が提供されていない県立中学校に通学する生徒や、食物アレルギーのため弁当を持参している児童生徒もいる。

同じ田辺市民として、学校給食という公的サービスを受けない子育て世帯にとっては、学校給食費無償化による不公平感が否めない状況が生じる。

よって、公平性の観点から、学校給食の提供を受けられない児童生徒を持つ世帯への対応を強く要望する。

記

1. 県立中学校に通学する生徒を持つ世帯への対応
2. 食物アレルギーなど、学校給食の提供を受けられない児童生徒を持つ世帯への対応

※ 和歌山県公立学校給食費無償化事業補助金

## 国土強靱化の強力かつ計画的な推進を求める意見書

(令和6年9月27日提出) ※抜粋

本市においても、平成30年8月の台風第20号をはじめ台風第21号及び第24号では河川の氾濫、暴風に伴う越波及び高潮による浸水被害のほか、倒木等による電線の切断・電柱の倒壊などが原因で長時間にわたり停電が発生し、住民生活に大きな影響をもたらしたことは記憶に新しい。

現在、政府においては、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により、自治体とともに国土強靱化の取組を推進している中、昨年6月「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」の改正において、「国土強靱化実施中期計画」を策定することが規定されるとともに、本年7月着手することが決定された。今後も切れ目なく国土強靱化に取り組むためには、中期計画の早期策定が求められるところである。

よって、本市議会は我が国の自然災害の発生状況を踏まえ、国民の生命と財産を守る防災・減災対策を継続的・安定的に実施するため、「5か年加速化対策」の最終年度となる令和6年度補正予算においては、資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも例年を大きく上回る規模で確保することを求める。

さらに、「国土強靱化実施中期計画」については、「半島防災」という新たな視点を取り入れ、特に必要となる施策の内容や事業規模及びその対策期間を盛り込んだ上で、できる限り早期に策定し、当初予算を含め必要な予算・財源について通常予算とは別枠で確保するなど、国において国土強靱化の取組を強力かつ計画的に推進するよう強く要請する。

※ **議**は議員からの質問・意見、**市**は市当局の答弁を表しています。  
※編集の方針上、「～だ」「～である」といった文体に統一しています。

## 一般質問

### 尾崎博文議員



**議** 少子高齢化の中、役員等の成り手不足、加入率が減少しているなど町内会を取り巻く環境は厳しく、業務の負担軽減も必要だと考えるが、市の見解は。

**市** 町内会をはじめ、各種団体が協力・連携し、見直すところは見直し、田辺らしい自治のあり方など、きめ細かい対応や問題解決のために地域課題の可視化や、住民の意識を高めるなど、地域ごとに適した対応を行っている。

**議** 地域住民のニーズにきめ細かく対応しながら、町内会の加入率アップや負担軽減に向けた、さらなる取組を進めていただきたい。

町内会を取り巻く現状と課題について

### 久保浩二議員



**議** 18歳までの子ども医療費無償化は、県下9市のうち未実施が本市と岩出市のみ。また、15歳までの無償化も本市が県下で最後であったが、この現状をどう認識しているのか。

**市** 市町村が各々の状況に応じて実施する中、他の市町村と単純比較するのは適当でないと考えているが、18歳までの無償化については、令和7年度中の実施に向け制度設計を行っている。

**議** 合併後、子ども、子育て世代人口が大きく減少している。この現状認識は。

**市** 全国で新生児が70万人を切るおそれのある中、大変深刻な状況と受け止めている。比べる必要がないと看過しているわけではない。

**議** 高校生議会でも実現を求められた。

子どもの医療費無償化、18歳までの拡充について

# 一般質問

## 浅山誠一議員



**議** 学校のある平日に家族や保護者と一緒に校外で行う体験や探究の学び・活動について、その計画を事前届出することで登校しなくても欠席とされないラーケーションの導入が全国的に相次いでいる。田辺市でも導入を検討してみてもは。

**市** 制度の目的でもある地域に出かけたり、多くの人と出会ったりする体験的・探究的な活動を通して学んでいくことの重要性は認識している。ラーケーションの導入によるメリット・デメリット等を含めて研究をしていきたいと考えている。

ラーケーションの導入について

## 前田かよ議員



**議** 仮設住宅や災害公営住宅は民有地の活用もあるが、住民合意が得られやすくなるよう、地域単位で学習会や協議を重ねることが重要ではないか。

**市** 防災学習会などで情報を共有し、地域の復旧・復興について考え、理解を深められるよう取り組んでまいりたい。

**議** 住民が地域の地形や地質の特質から想定しうる被害をイメージすることが、地域の復興を考える下地になる。こうした学習を「田辺市まちづくり学びあい講座」へメニュー化してはどうか。

**市** メニューに加えられよう検討し、復旧・復興について市民にも考えていただく機会となるよう取組を進めてまいりたい。

事前復興計画のブラッシュアップについて

## 加藤喜則議員



**議** 今後、子どものための事業等の方針を決める際に、権利の主体である子どもたちが、積極的に議論に参加できる仕組みや制度を整備すべきと考えるが、市の見解は。

**市** 本市は、昨年度、田辺市民総合センター整備方針の策定等に際し、ワークショップ方式による高校生からの御意見をいただいた事例もあり、その仕組みや制度を整備することは、有意義であると認識している。今後は、国の動向や先進地事例も参考に、子どもが議論に参加できる仕組みや制度を研究してまいりたい。

子どもたちがまちづくりの協議に参加できる制度の整備について

## 安達幸治議員



**議** アルコール依存、大麻・覚醒剤等の薬物依存が低年齢化しており、タトゥーについてもリスクが大き過ぎる。どのように教育をされているのか。

**市** アルコール・大麻・覚醒剤については、小学校では6年生の保健の学習で、中学校では2年生の保健体育の学習で、それぞれ害と健康について学んでいる。タトゥーについては学習指導要領に記載はないが、家庭や児童生徒への啓発を検討すべき時期が来る可能性について留意しておく必要があると認識している。

薬物依存等に関する教育について



8月17日(土)に「田辺市高校生議会」を開催しました。将来の担い手である高校生に、議会への興味や政治への関心を持っていただくとともに、高校生のまちづくりに対する思いや意見を市政の参考とさせていただくため、田辺市議会が主催したもので、市内の高校から22名の高校生が参加してくれました。

午前中のオリエンテーションでは、庁舎内の見学や議会のしくみについての説明を行い、午後は議会の形式に倣って、本会議と委員会を開催しました。

参加した高校生からは、「田辺について改めて考えるいいきっかけになった」「自分の意見をより深めることができた」「議員の意見を実際にきけて、今の現状も知れた」「さらに田辺市を盛りあげられるような案も考え続けられたらいいな」などの感想をいただきました。

当日のスケジュール

- ◆オリエンテーション
- ◆正副議長・正副委員長との昼食会
- ◆本会議（委員の選任・委員会付託）
- ◆委員会（意見交換）
- ◆議員との懇談会
- ◆委員会再開（委員会報告書の確認）
- ◆本会議再開（委員会報告書の発表）

本会議

高校生と議員を3つの委員会の委員に選任し、「未来のために、大人にいま取り組んでほしいこと」について、それぞれの委員会に異なるテーマを付託しました。

また、委員会終了後の本会議では、各委員会の高校生委員から、出された意見についての「委員会報告」がありました。



委員会

本会議で付託されたテーマについて、高校生委員からの意見をもとに意見交換を行い、委員会報告書に取りまとめました。

委員会報告書（抜粋）

総務企画委員会

「田辺に住み続けたいと思えるまちづくりについて」



- ①若者の地域定着を促進するため、市内に大学を新設する。
- ②インフラ整備の強化や企業誘致を積極的に行い、魅力的な雇用を創出する。

- ③和歌山大学を県内に分散させ、市内にもキャンパスを新設する。
- ④市の施策や情報を、各世代がそれぞれ理解できるように工夫し、広く周知する取組を行う。
- ⑤県内の最低賃金を引き上げ、市内で働ける場所を増やす施策を行う。
- ⑥避難所に関するマークを分かりやすくし、防災機能を兼ね備えた公共施設を整備する。
- ⑦既存の支援制度の対象外である世帯に対して、ベーシックインカム制度のような経済的支援を実施する。

## 産業建設委員会

## 「農林水産業の担い手について」



- ①補助金などにより安定した収入を確保するほか、農業用地などを貸し出すことで、都市圏に住む人が就農しやすくする。
- ②水産業に携わっている人を講師として、水産業に興味のある人向けの研修を行う。
- ③農林水産業に興味のある高校生や大学生など、職業選択のタイミングにある若者を全国から呼んで田辺市に来てもらう。
- ④田辺市独自の産業に関するイベントを通して、魅力を伝えていく。
- ⑤都会に住んでいる人で、農林水産業に興味がある人をターゲットに、SNSを用いてオンライン上で交流し、田辺市の農林水産業に興味を持ってもらう。

- ⑥ターゲットを若者として、インターンシップを通じて田辺市の農林水産業の認知度を上げる。
- ⑦外国人労働者を受け入れ、廃校を利用するなど、就労環境を整備する。
- ⑧小中学校で農林水産業の体験学習を行う。
- ⑨水産業のブランド化に力を入れ、名物料理を考案するなど県外の方に興味を持ってもらう。
- ⑩副業として農林水産業に携わってもらう。
- ⑪養殖業に力を入れる。
- ⑫小中学校の授業で、野菜や果物などについて、基礎的な知識を学ぶ。
- ⑬身体を使って仕事をしたい、自然の中で働きたいという人などに農林水産業に従事してもらえるようにする。
- ⑭家業として継ぐための問題点を解決する。
- ⑮法人化して、安定した給料を支給できるようにする。
- ⑯農学部を設置する。

## 文教厚生委員会

## 「子育てをしやすいまちづくりについて」



- ①子供たちが安全に通学したり、遊びに行ったりができるよう、地域の要望を町内会から上げるなどして、道路をきれいにする。また、グリーンベルトなどの役割を情報発信していく。
- ②親から、子育てをしているからこそその意見や大変なことなどを聞く。
- ③家族と過ごす家庭の時間を大切にする。

- ④シングルマザーやシングルファザーが子供を預けやすい病児保育の施設を整備する。また、ただの病児保育ではなく、歯科医師と連携した新しい病児保育も検討する。
- ⑤大きな病院を増やす。
- ⑥高等学校の学費を免除する。
- ⑦子供の屋内遊び場を整備し、親同士もカフェで交流できる場所をつくる。
- ⑧子供が一人での時間をなくすため、公共施設で学童以外でも子供が集まって遊んだり、勉強したりできる場所をつくる。
- ⑨親に負担がかかるのを心配して病院に行くのをためらう子供もいることから、18歳までの医療費を無償化する。
- ⑩子供の遊び場として老人ホームを活用したり、子供食堂の運営をお年寄りにしてもらう。

# 議 会 活 動 日 誌

7月	【31日】 庁舎跡地活用等まちづくり特別委員会
8月	【 8日】 文教厚生委員会 【17日】 文教厚生委員会 【28日】 文教厚生委員会 【29日】 議会運営委員会
9月	【 4日】 定例会（1日目） 【13日】 定例会（2日目）、議会運営委員会 【17日】 定例会（3日目）、会派代表者会議 【18日】 産業建設委員会、文教厚生委員会 【19日】 総務企画委員会 【25日】 会派代表者会議 【27日】 定例会（4日目）、議会運営委員会、 総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会、 広報委員会、庁舎跡地活用等まちづくり特別委員会
10月	【 2日】 正副委員長会議、議会運営委員会 【 7日】 文教厚生委員会 【 8日】 文教厚生委員会 【 9日】 産業建設委員会 【10日】 産業建設委員会 【16日】 総務企画委員会、広報委員会 【17日】 総務企画委員会

議会日程の詳細や市議会だよりの内容等について、ご意見・ご質問等がありましたら、田辺市議会事務局までご連絡ください。

## 【連絡先】 田辺市議会事務局

〒646-8545 田辺市東山一丁目5-1

TEL 0739-26-9940（直通）

FAX 0739-25-5579

E-mail : gikai@city.tanabe.lg.jp

田辺市議会ホームページ

<https://www.city.tanabe.lg.jp/gikai/>



こちらからもホームページ  
にアクセスできます



次回の「市議会だよりの」

## 2月号

（第5回（12月）定例会の報告）

## 令和6年第5回（12月）定例会の会期日程（予定）

第5回（12月）定例会の会期日程（案）をお知らせします。

日程は諸事情により変更される場合がありますので、恐れ入りますが、傍聴をご希望の場合は、議会事務局まで日時をお問い合わせください。

月	日	会議の内容
11	27	本会議1日目（決算審査委員長報告、議案審議、議案の提案説明）
	28	本会議2日目（委員長報告、議案審議、採決）
12	9	本会議3日目（一般質問）
	10	本会議4日目（一般質問）
	11	本会議5日目（一般質問、議案に対する質疑及び委員会付託）
	12・13	常任委員会（付託議案に係る審査）
	19	本会議6日目（委員長報告、議案審議）

※ 本会議の開会予定時刻は、11月27日・28日、12月19日が午後1時、それ以外は午前10時です。

### 編集後記

偶然に立ち寄った店で、亡き祖父の詩が飾られていた。時折、祖父の詩に思い馳せ、懐かしむ声を耳にする。祖父は、筆を執ることが大好きで、趣味が高じて一冊の随筆集を出している。タイトルは「窓辺の詩」家業にちなんでつけたのだろう。市立図書館の棚にも並んでいる。久方ぶりに手にとって、古びた頁を目でなぞる。思い浮かぶのは、祖父の笑顔と古き良き景色。短くも情緒豊かできれいな詩。芸術の秋、私も做ってキーボード。指がピクリとも動かない。秋の夜長に、白い画面と睨めっこ。それでも指は動かない。遺伝は受け継がれなかったようだ。（北田）

### 広報委員会

委員長 松上 京子  
副委員長 前田 かよ  
委員 加藤 喜則  
" " " 尾崎 博文  
" " " 谷 貞見  
北田 健治